

大会スローガン

「相手の立場やいたみがわかる 心を育てましょう」



一人芝居で熱演する小林泉さん



しび保育園「やなせ太鼓」

平成17年第1回

『さつま町人権啓発フェスティバル』

8月24日、第1回さつま町人権フェスティバルが「人権問題について考えよう」をテーマに、一人ひとりが人権について一層の理解と自らの意識を深め、啓発活動を推進し、全ての差別を無くすようみんなが力を合わせて住みよい町を築くことを趣旨として、宮之城文化センターで開催されました。

オープニングでは、太陽保育園の「太陽ちくりん太鼓」・しび保育園の「やなせ太鼓」・鶴田「コールひまわり」グループの合唱などが大いに会場を沸かせました。

その後、一人芝居の小林泉さん（写真）の講演と中学生4人（写真）による人権作文の発表があり、それぞれ自分の経験をもとに、強く生きていくための勇気と友達との大切さや感謝の気持ちや表現し、参加した方々に感動を与えました。

また会場の一角では、知的障害者更正施設「宮之城ふくし園」の園生による作品の展示即売も行われました。

最後に、人権擁護委員の宮田和子さんが「さつま町人権尊重の町」の宣言文を朗読し大会が終了しました。



人権の花



大会の様子



「家族、そしてみんなに支えられて」
宮之城中3年 内 容子さん



「あの人がいてくれたから」
薩摩中2年 岩元 美智さん



「人に心を奪われて」
鶴田中2年 村田 梓帆さん



「輝く命」
山崎中3年 四位 美里さん